

北九州市長 武内和久 様

**世界遺産の構成資産に匹敵する価値がある  
「初代門司港駅跡」 関連遺構の現地保存を求める要望署名**

**趣旨**

今回みつかった機関車庫をはじめとする鉄道遺構は、明治日本の近代化を物流面で支える産業都市門司港の歴史そのものです。門司築港による海上輸送とほぼ同時に開設された初代門司港駅（当時の名称は門司駅）は、陸路による石炭輸送を可能にし、やがて日本の鉄鋼産業を牽引した官営八幡製鉄所の創業と相まって、近代産業都市形成を物語る重要な歴史遺産であり、門司区民、北九州市民のアイデンティティの象徴ともいえます。

ふるさと門司港発展のランドマーク、また区民の心の拠り所でもあり、数々の郷愁をそそる門司港駅……、その遺産を後世に残し伝えることが、私たちの使命であり責務といえるのではないのでしょうか。

そうした中、昨年 10 月に九州鉄道の原点ともいえる初代門司港駅の鉄道遺構が出現したことにより、その構築技術、施設の時期的変遷、門司築港との関連、さらには近代以前の地形・地質環境などが初めて明らかになったのです。

今回の初代門司港駅を現地保存・公開し、現門司港駅（国指定重要文化財）、九州鉄道記念館（国指定登録有形文化財）、門司港レトロと一体的に周遊性を持たせて整備すれば、唯一無二の近代日本歴史回廊ができあがり、それはまさに市のコンセプトにも合致するのです。

世界遺産が2つある町一市の東（初代門司港駅）と西（官営八幡製鉄所）の歴史的文化遺産が明治日本の近代化という同じ脈絡の中に息づく町一は世界にも例がなく、北九州市の誇れる宝となり、観光の目玉にもなることでしょう。

**要請事項 初代門司港駅の遺構の現地保存を求めます。**

氏 名	住 所

■呼びかけ 初代門司港駅跡の保存を求める会（代表 中川研治）

■署名送付先

佐藤浩司 〒802-0981 北九州市小倉南区企救丘 5-21-25-309 電話 090-5027-7958

■取扱団体<

>